

元気はつらつ

豊住中学校
女子ソフトテニス部

わたしたち豊住中学校女子ソフトテニス部は全員で15人。毎日放課後と土曜日に元気いっぱい練習しています。豊住中は、生徒数が少ないので、女子のスポーツクラブはソフトテニスとバレーボールだけ。その中で、女子ソフトテニスは男子も含めて、もっとも大人数の部です。

すばやくボールに向かって



ことしも1年生が6人入部してきました。1年生の目標は早く先輩たちを追いつき戦力となること。2年生は6人。昨年、部会の1年生大会でベスト8になったペアもいます。このところ本番(公式戦)でなかなか勝てないのが課題です。3年生は3人と少ないのですが、選手権大会で県大会出場するなど頑張っています。

指導してくれるのは、三橋良一先生。指導歴10年以上のベテランです。普段はとても優しい先生ですが、気の抜けた練習をしていると、「そんなことだから、勝てないんだ」と厳しく合言葉をいられることも。「気持ち強く持つよつらつ」「相手へ



きりぬく
思い振り
つといい成績がついてくる
練習しています。



テニスを楽しんでいます

ア(の)気持ちを常に考えてプレーするよつらつともいわれます。

豊住中は、全員豊住小の出身なので、学年が違ってもお互いをよく知っています。そのため、学年間の壁が無く、チームの一体感といったものは、どのチームより優れています。反面、仲が良すぎて、厳しさが足りない面もあるかも。

目標は夏の中学総合体育大会で、戦でも多く勝ち抜いていくこと。元気はつらつテニスを楽しめば、き

なかまと一緒(50)

佐原囃子は生きがい

ゆうてき
友笛はやし連

わたしたちは、毎週日曜日に中郷公民館で、久保木敏行先生の指導のもと佐原囃子を演奏しています。

結成のきっかけは、公民館で開催された横笛教室ですが、小さいころから成田祇園祭などを見て聞いて育ったので、全員が大きく育ったら自分でもやってみたいと思っていました。

お囃子に使用する楽器は、笛・大太鼓・小太鼓・鼓・すり鉦などがあり、さながら和楽器のオーケストラのようです。佐原囃子は曲目がとても多く独特の響きがあります。普段の練習は「役者」

格調高い音色が響く



気持ちと音を合わせ

と呼ばれるお神輿(みこし)が出發するとき演奏するものが中心です。

先輩の笛や太鼓の音を聞きながら、ここはこんな風に吹く・たたくというのを肌で感じ取り、歯切れ良く音を出すことに心掛けています。

今では佐原囃子を演奏することにとっぴりはまってしまいました。山車にあがることはとても気持ちの良いことです。百人を超える人が山車を引っ張ってくれる、それに応えようと意欲が湧き頑張れます。

これから成田は祭り一色。日本三大囃子の一つである佐原囃子は、自分たちにとって無くてはならないものになっています。それくらい真剣に向き合っています。



佐原囃子の演奏は生活そのもの

市民の

